

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

金貞淑平壤製糸工場に新たな寮が設置

2017年3月31日付『朝鮮新報』は、同年1月に竣工した金貞淑平壤製糸工場の新しい寮を紹介した記事を掲載した。記事によれば、同寮は延べ面積が8910平方メートルの7階建ての建物で、シフト制で働く労働者が3階から7階までの40の部屋に270名、入寮生活をしているという(収容能力は320名)。この工場だけでなく、黄海製鉄連合企業所や金策製鉄連合企業所、城津製鋼連合企業所等の比較的規模の大きい企業にも寮があるという。同寮には2016年6月に金正恩国務委員長も視察に訪れたとのこと。

元山軍民発電所の稼働

2017年4月3日付『朝鮮新報』は、16年4月に完工した元山軍民発電所の稼働によって、2000年に完工した安辺青年発電所と09年に完工した元山青年発電所とを合わせ、元山市だけでなく、金剛地域と鉄原地域に1日24時間電力供給が可能になったことを報道している。

金日成総合大学に山林科学学部設置

2017年4月7日付『朝鮮新報』によれば、同月1日に新たに設置された山林科学

学部に新生が入学した。同学部は国土環境保護省と林業省が後援単位となっており、教育設備の多くをこの2つの省が寄付した。学制は5年制で、学生は除隊軍人と高級中学校(高校)卒業生からなるとのことだ。

平壤に新たなトロリーバス誕生ーバッテリーを搭載

2017年4月10日付『朝鮮新報』によれば、平壤市で新たな国産トロリーバスが運行を開始したとのことだ。同バスは、架線からの電力だけでなく、内蔵したバッテリーによる運行もできるようになっているとのことだ。

元山靴工場における国産原料を利用した靴の生産

2017年4月10日付『朝鮮新報』によれば、2015年にリニューアルオープンした元山市にある元山靴工場では、咸興市にある2・8ピナロン工場と平壤合成皮革工場で生産される塩化ビニルと合成皮革を利用して男女用の靴を生産しており、軽量化にも成功したため、消費者の評価も高いとのことだ。

平壤市の黎明通りが竣工

2017年4月16日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の黎明通り一体の住宅地区建設が竣工した。同月13日には金正恩国務委員長が同地区を視察し、竣工式のテープカットに参加した。

ば、平壤市の黎明通り一体の住宅地区建設が竣工した。同月13日には金正恩国務委員長が同地区を視察し、竣工式のテープカットに参加した。

教育の情報化のために努力

ー平壤市楽浪区域

2017年4月27日付『朝鮮新報』によれば、平壤市楽浪区域では、2016年に農村地区を含めた区域内のすべての学校と幼稚園を国家網(国内用インターネット)に接続させ、区域内での教育ネットワーク体系を構築したとのことである。

同記事によれば、同区域の教育関係者はサーバー用パソコン、IPカメラ、画像会議用のテレビ等を利用して、独自のネットワークを構築したが、農村地区にまで光ケーブルが敷設されているので、それほど難しい作業ではなかったと述べている。

第20回平壤春季国際商品展覧会開幕

2017年5月22日付『朝鮮中央通信』によれば、同月22日、平壤の三大革命展示館で平壤春期国際商品展(見本市)が開幕した。北朝鮮とベラルーシ、中国、イラン、イタリア、インドネシア、ベトナム、キューバ、台湾をはじめとする各国・地域の会社が参加した。会期は同月25日まで。

金日成総合大学で国際学術討論会 —生態環境保護と医学および農業の発展

2017年5月26日付『朝鮮新報』によれば、同年5月9～10日、金日成総合大学で国際学術討論会が開かれた。同大学の地球環境科学部、生命科学部、電子自動科学部、山林科学学部、平壤農業大学、平壤医学大学、桂應祥農業大学の教員と研究院、学生約70名と、スペイン・バルセ

ロナ大学の教員、中国・延辺大学の教員が参加した。

平壤人民奉仕学院が昨年開発した 新しい料理

トウモロコシ粉トルティーヤ状のラップ

2017年5月26日付『朝鮮新報』によれば、国産のトウモロコシ粉で作ったパンケーキ状のものに副食品を包む料理が平壤人

民奉仕学院で開発されたとのことである。国産原料で作られた朝鮮風のタコスのような料理であるが、平壤の有名食堂である玉流館や清流館でも提供されており、客は初めは好奇心で注文するが、おいしいのでリピートすることが多いとのことである。

ERINA 調査研究部主任研究員

三村光弘